

## ドナルド・キーン先生を偲ぶ

2019年2月24日午前6時21分、日本文学研究者で当センター名誉館長のドナルド・キーン先生が96歳でご逝去されました。

突然の訃報に深い悲しみに耐えず、心からご冥福をお祈り申し上げます。

キーン先生が当センターを訪ねられ、多くの作家との交流資料を懐かしそうに見られている姿や、書齋の椅子に腰かけられて今にもお仕事を始められそうな在りし日のお姿が思い出されます。

私たちとキーン先生との出会いは、2007年7月に発生した中越沖地震の後、先生のご提案で復興の一助として行われた古浄瑠璃「越後国柏崎 弘知法印御伝記」の復活上演のお手伝いをしたことに始まりました。その後、先生のご活躍の様子を継続して映像化し、記録として遺す活動を行ってきました。

そのような中、東日本大震災が発生し福島県原発事故により多くの外国人が日本を離れるなか、先生はアメリカから私たちに「日本に帰って、日本人となる」という素晴らしいメッセージを送ってくださいました。その言葉によって、多くの日本人の心に苦難から立ち上がろうという火が灯りました。

キーン先生は、1940年に英訳された『源氏物語』に出会って以来、70年以上の永きにわたり、日本文学や日本文化の素晴らしさを翻訳して世界に発信して来られました。そして、2013年9月21日の当センターの開館に際しては、多くの書籍や資料、家具等を寄贈していただきました。これは私ども財団だけではなく、多くの人々にとっての文化振興に役立つ貴重な財産となりました。

これまでの先生からのご恩に対しまして、改めて感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

今後も当財団の活動を通じて、先生が取り組み続けて来られた平和への思いや日本文学、日本文化の素晴らしさを、展示や講演会等を通して伝え続けていきたいと考えております。

2019年2月26日

公益財団法人ブルボン吉田記念財団 理事長  
ドナルド・キーン・センター柏崎 館長

吉田 康